

### 第3回台東区住宅マスタープラン策定に関する 意見交換会（R6.8.23）における検討事項と対応

	検討事項	対応	資料
	議事（3）施策展開の方向・主な取組み（案）について		
1	<p>&lt;マンション共用部分計画修繕調査費助成について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査費の助成から踏み込んで、調査員の斡旋・紹介をしていただくことは可能か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の事業者を紹介することは難しい。マンション管理・修繕相談員派遣制度をご利用いただく際にも、複数の事業者から見積もりを徴取いただきたいなどのアドバイスになる。</li> </ul>	
2	<p>&lt;マンション管理・修繕相談員派遣制度について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の派遣にあたっては、管理組合のニーズを的確に把握して、しっかりと対応できる方をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、相談員に対して相談内容の概略をお伝えしたうえで派遣を行っている。派遣は1回の申請につき1回となるが、年4回まで派遣可能となっている。相談後のフォローやアセスメントなど、今後は、事業の改善につながるような仕組みを整えていく。</li> </ul>	
3	<p>&lt;プランター設置助成について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潤いのある空間の整備促進という施策展開の方向については、プランターの設置助成以外にも様々な事業が考えられると思うが、これを取り上げたのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台東区花とみどりの基本計画において、「プランターによる緑化の促進」に取り組んでいるが、台東区というあまり広くはない限られた土地の中で緑を飛躍的に増やすことは難しいため、身近な場所に花とみどりを広げていくということで取組みとして記載している。</li> </ul>	

4	<p>&lt;まちづくりカレッジについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりカレッジについて、具体的には、これからどのようなことをやるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりカレッジではこれまで、講座形式による、まちづくりに関心のある人を広げていくという取組みを行ってきたが、現在は、都市づくりの施策として公民連携でまちづくりを推進していくということで、具体的には、まちづくり活動を社会実験的に行うような仕組みの実戦形式の取組みに切り替えており、まちづくりの担い手が様々なところで活動できるよう、そういった人材を育成するという視点で事業を行っている。</li> </ul>	
5	<p>&lt;東京とどまるマンションの普及啓発について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京とどまるマンションの普及啓発は、台東区だけでなく都内の各自治体で行われているものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京とどまるマンションは東京都が行う事業で、災害時に自宅での生活を継続しやすいマンション等の普及啓発を図っている。東京とどまるマンションに登録している分譲マンションの管理組合等を対象に、発電機や簡易トイレなどの購入費用を補助している。</li> </ul>	
6	<p>&lt;施策に関することばの表現や構成等について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1を見ると、マンションという表現が繰り返し何度も使われており、マンション中心の限定的な内容になってしまうのではないか。また、基本目標の順番（並び）を変更することはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1～3の順番（並び）については、確認いただいたとおり決定とさせていただくが、施策展開の方向については、構成等あらためて確認をする。また、「マンション」の表記については課題があると考えており、分譲マンションと賃貸マンションが抱える課題に違いがあることやどちらかといえば分譲マン</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賃貸マンションや戸建て住宅などについても触れるような表現のほうが、見やすくなるのではないか。書き方や順番（並び）で工夫できるとよい。</li> <li>・ 資料中のマンションが、分譲マンションなのか、賃貸マンションなのか、記載場所によって曖昧かもしれない。分譲マンション、賃貸マンションそれぞれに課題があるので、なるべくわかりやすい表現を工夫していただきたい。</li> <li>・ 木造戸建てなどの表現を使うと、見た目にも優しい感じが出るのではないか。</li> <li>・ 施策展開の方向1－3の取組みの内容としては、（1）耐震化支援、（2）除却・建替え支援、という構成であると思うが、（2）の説明文に「改修」という表現が使われていて、取組みの内容と一致していない。</li> <li>・ 施策展開の方向1－3は、住宅の耐震化とマンションの防災対策の促進とあるが、マンションも住宅のひとつである。言葉の定義がしっかりしていないと、議論が整理されない。</li> <li>・ 施策展開の方向2－2（1）の不燃化特区制度と1－3（2）の取組みの内容も重複する。いずれの制度も活用できる、ということがわかるように記載いただきたい。</li> </ul>	<p>マンションを支援対象とする施策が多く、賃貸マンションに対する支援をどのように行っていくのかなど、施策として難しい部分はある。</p> <p>ご指摘いただいた、ことばの表現や誤り等については、あらためて内容を確認した上で、わかりやすい適切な表現に修正していく。</p>	
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策展開の方向2-4(1)の説明文に「不測の事態に備え」とあるが、地域コミュニティは不測の事態に備えるためだけのものではない。あらためて表現を考えていただきたい。</li> </ul>		
7	<p>&lt;応急仮設住宅対策について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急仮設住宅について、台東区は都市部であるから、これにはみなし仮設なども含んでいるということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急仮設住宅については、基本的には東京都が整備を行い、区は用地確保の協力や入居者の募集・管理などの業務を担う。本施策については、東京都との密接な連携が必要であり、表現上「応急仮設住宅対策」としているが、区の業務としては、建設にあたっての準備や建設後の入居対応などについて、進めていくということになる。</li> </ul> <p>東京都では、民間の賃貸住宅を借り上げて活用するということも検討はしていると思うが、実際に整備（確保）される数については、現時点では不明である。仮設住宅については、その場所も含め、東京都全体で調整していくようになると考えている。</p> <p>住宅マスタープランにおける表現等についても、わかりやすく説明できるよう検討していく。</p>	